

2018年度

# 事業計画書

2018年3月

公益財団法人 ブルボン吉田記念財団

## 2018年度事業計画

定款第4条に掲げる事業として、下記の事業を行います。

### (1) 学資金の貸与又は給付

学力優秀でありながら経済的な事由等により修学が困難な学生に対する奨学援護。

目的：奨学事業を通じて、次世代を担うグローバルな人材の育成や公衆の教養の向上、心身の健全な発展に寄与する。

#### 2018年度計画

##### ①奨学金の貸与

4月分から毎月15日に親権者預金口座に振込む。(新1年生からは、本人口座への振込みに変更) 下記学年は新学年(5年生は歯学部1名)

1年生については、第一次合格者数にて記載

対象者	人員	1名当年間貸与額	年間貸与額
大学生	5年生 (1名)	月額30,000円×12か月=360,000円	360,000円
	4年生 (20名)	月額30,000円×12か月=360,000円	7,200,000円
	3年生 (24名)	月額30,000円×12か月=360,000円	8,640,000円
	2年生 (12名)	月額30,000円×12か月=360,000円	4,320,000円
	1年生 (25名)	月額30,000円×12か月=360,000円	9,000,000円
	合計 82名		

##### ②奨学金の返還

- ・2018年3月卒業生を対象に、奨学金借用証書及び返還予定書を提出指示
- ・2017年度以前の卒業生を対象に、奨学金の返還指示及び諸通信の連絡
- ・2018年度返還額予定額(返還予定書より算出) 12,576,000円

##### ③第43回(2019年4月進学)奨学生募集活動計画

- ・奨学生対象エリア～新潟県、山形県、長野県、福島県全域
- ・募集人員：大学生25名
- ・募集要項の発送 10月上旬

募集要項の発送の前に、対象県の教育庁高等学校教育課を訪問し、当財団の奨学金制度についての各高等学校への周知をお願いする。

- ・対象校：高等学校395校 新潟県109校 山形県71校  
長野県108校 福島県107校

- ・募集締切：2018年12月下旬
- ・第1次選考委員会：2019年1月下旬
- ・2月上旬に選考結果を通知し、1次合格者のうち進学決定者を採用し、4月上旬に決定する。

## (2) 文化資料館、博物館、美術館等の設置、運営

文化資料館「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営。

目的：2013年9月に開館した「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営とその企画事業において、ドナルド・キーン先生の執筆・翻訳・教鞭活動に関する資料の収集・展示を通じ、日本文化や日本文学の素晴らしさを再発見する場を提供する。

本年度の「ドナルド・キーン・センター柏崎」関連の事業計画は以下の通りです。

### 【ドナルド・キーン・センター柏崎の常設展示の運営】

目的：キーン先生の今日までの歩みや仕事を常設展示し、来館者に日本文学を愛するドナルド・キーンという人間を知ってもらうと同時に、日本文学、日本文化の面白さ、素晴らしさを発見、認識してもらう。また、ニューヨークに存在したキーン先生の書斎を復元・展示して、90歳で日本人となったキーン先生の日本への愛を感じてもらい、日本と日本人を見つめ直す場とする。

今年度より、月曜日・火曜日を休館日とし、冬季休館期間も12月26日から3月31日とする。～開館カレンダー参照

年間開館日数：192日 来館者計画：2,000人

(2017年4月1日～2017年12月25日実績1,708人～前年伸張率 116.9%)

事業収入目標額 800,000円

(2,000人×400円=800,000円)

### ●2018年度計画

【キーン先生の日本文化・日本文学研究の「志」を広く市民の心に宿し、実践につなげる活動を行う】

- ①毎月一回の展示関連イベント（ミニ講演会等）の開催
- ②キーン先生の研究テーマに関する連続講座の開催
- ③図書館運営指定管理団体（株式会社図書館流通センター）との連携による巡回展における講演活動の開催

### 【企画展の計画】

目的：常設展示だけでは、伝えきれないキーン先生の多彩な文学研究の世界を、企画展示として紹介し、日本文学の魅力を、日本文化の素晴らしさを思い起こさせる一助とする。2018年度は、例年と同様に、春の開館時より、12月25日まで年間2回の特別企画展を開催する計画です。1回目と2回目を夏休み期間中に切り替えることで、夏休み期間中に2つの特別企画展を見学できるようにします。

### ●2018年度特別企画展

#### ①ドナルド・キーン、倫敦に還る。

～第二章『源氏物語』の芸術的な翻訳者、アーサー・ウェーリとの邂逅～展

アーサー・ウェーリが翻訳した『源氏物語』は、英語芸術作品の傑作として評価され、世界の文学と認められました。キーン先生はその作品と出会い、日本文学研究を志し、ウェーリを師と仰いできました。その二人の「出会い」「別れ」、「ウェーリの仕事や魅力」を紹介します。

(2017年11月13日(月) 2017年度第3回理事会にて開催の承認)

主催：公益財団法人ブルボン吉田記念財団

期間：2018年4月1日(日)～同年8月12日(日)

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎2階特別企画展室

この企画展には、下記の法人、団体、個人の方からのご後援、ご協力をいただき、開催いたします。

後援	新潟県、新潟県教育委員会、柏崎市、柏崎市教育委員会、東京都北区、東京都北区教育委員会、東京都北区立中央図書館、新潟日报社、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟、柏崎日报社、柏新時報社、柏崎コミュニティ放送
協力	株式会社ブルボン、古浄瑠璃「弘知法印御伝記」ロンドン公演実行委員会

## ②ドナルド・キーン、倫敦に還る。

～第三章 第二の故郷、ケンブリッジ。忘れえぬ思い出、忘れえぬ人々～展

キーン先生は、日本留学を果たす前の5年間、ケンブリッジ大学で日本文学研究を続け、近松門左衛門の『国性爺合戦』の翻訳と研究で博士号を取得しました。そのケンブリッジ時代の忘れえぬ人々、エピソードを展示と宮澤正明が撮った写真で紹介いたします。

(2017年11月13日(月) 2017年度第3回理事会にて開催の承認)

期間(予定)：2018年8月17日(金)～同年12月24日(月・振替休日)

会場(予定)：ドナルド・キーン・センター柏崎2階特別企画展室

### 【出張展示企画展(巡回展)】

他の記念館、図書館、官公庁や企業、学校等の施設にてドナルド・キーン・センター柏崎の所蔵品や過去の特別企画展にて製作した展示パネル等を一定期間貸与し、展示していただくことで、当センターの知名度向上とドナルド・キーン先生が世界に発信し続ける日本文化、日本文学への造詣を深めていただくことを目的に開催する。

さらに今年度は、開催場所にて講演会を実施することで、キーン先生の「志」を多くの方々の心に残していく。また、講師料による収益性の向上につなげる。

2018年度計画～

- ①2017年前期に開催した「ドナルド・キーンに宿った「センセイ」、恩師、角田柳作の志」展を東京都北区中央図書館にて開催
- ②2017年6月に開催された古浄瑠璃「越後国柏崎 弘知法印御伝記」のロンドン公演の様子を紹介するパネル展を開催(図書館流通センターと連携)  
・東京都千代田区立日比谷図書文化館 他

### 【講演会の計画】

目的：「ドナルド・キーン・センター柏崎」から発信される日本文化や日本文学の素晴らしさ、おもしろさをより具体的に公衆の皆様にお伝えし、理解していただき、教養として身につけていただくことを目的として開催する。また、企画展の展示内容の深掘りし、企画展の展示の理解度を高めることも目的とする。

- 2018年度開館記念講演会～開館5周年記念講演会として検討

センターの開館5周年を記念して、地元柏崎を中心に協賛社を募り、柏崎市・柏崎市教育委員会の協力のもと開催を計画。

時 期：9月又は10月

会 場：ドナルド・キーン・センター柏崎関連施設を予定

内 容：後期特別企画展の展示内容に関連し、キーン先生が博士論文として発表した近松門左衛門から始まる浄瑠璃・文楽の世界を紹介する。

入場料：大人 1,000円（予定）（公益目的事業収益）

工 程：2018年 5月 予算案の作成、関係団体への提案、開催の可否決定  
6月 講演会内容(案)の作成→キーン先生へご提案  
講師等の招聘  
講演会企画書による協賛社募集  
7月上旬 チラシ、ポスターの制作・配布  
7月下旬 講演会開催告知開始  
8月中旬 広告掲載  
9月～10月開催

#### 【センター主催：ミニ講演会・定期セミナー等計画】

目的：常設展示や企画展の展示内容の深堀りやドナルド・キーン先生が永年にわたり、研究されてきた日本文学や造詣が深いオペラ等に関するセミナーを定期的を開催し、市民の文化意識の向上とともに、ドナルド・キーン・センター柏崎の永続性を高める。

#### ●2018年度計画

##### ①企画展関連「講演会」

企画展のテーマに関連した講師をお招きして開催。2018年度は、4回開催の予定。

会 場：ドナルド・キーン・センター柏崎関連施設を使用

定 員：50名～200名

受講料：500円～（公益目的事業収益）

今年度は、特別企画展「ドナルド・キーン、倫敦に還る。」第二章及び第三章に関連し、その展示にご協力を頂いた専門家をお招きしての特別企画展関連講演会を計画。

4月 1日：『源氏物語』とアーサー・ウェーリ 1回目

講 師：井原真理子 帝京大学外国語学部准教授

会 場：ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

受講料：500円

6月23日：『源氏物語』と作家たち

(予定) 講 師：島内 景二 電気通信大学教授

会 場：ドナルド・キーン・センター柏崎関連施設

受講料：500円

8月中旬：『源氏物語』とアーサー・ウェーリ 2回目

講 師：井原真理子 帝京大学外国語学部准教授

会 場：ドナルド・キーン・センター柏崎関連施設

受講料：500円

1 2月下旬：アメリカの大学生が演じる歌舞伎

講 師：ローレンス・コミンズ ポートランド州立大学教授

会 場：株式会社ブルボン本社10階大ホール

受講料：未定

### ②定期セミナー「古浄瑠璃連続講座」

キーン先生の研究テーマでもある近松門左衛門の浄瑠璃。その原点となる古浄瑠璃から文楽までの発祥の経緯や変遷、歴史的価値等を専門家を講師として招聘し学ぶ講座とする。

開催時期：9月から12月まで、4回の開催を予定

会 場：ドナルド・キーン・センター柏崎関連施設

講 師 案：鳥越文蔵早稲田大学名誉教授、川村知行上越教育大学名誉教授 他

受 講 料：500円/回

定 員：50名程度

### ③「オペラ講座」

柏崎文化協会のご協力を得て、キーン先生やキーン先生のご友人から寄贈されたオペラのレコードを取り上げ、開催する。

7月、11月に開催予定。場所は、ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

### 【教育普及活動】

#### ①小中高校生向けの授業の一環としての「勉強会」の開催

「柏崎学」の一環として柏崎市教育委員会に協力を要請する。

ドナルド・キーン先生の「人となり」について、小学校（国語、道徳）、中学校・高校（英語）の教科書に取り上げられていることをきっかけとして、各学校に対し、案内を行い来館につなげる。（勧誘する地域は、今年度は、柏崎市とする）

勉強会は事前申し込み制として、副館長又は学芸員他スタッフが説明にあたる。なお、見学料は無料とする。

#### ②学芸員による展示解説会の開催

昨年まで、実施していたボランティア向け勉強会を一般の方向けに開催。

毎月一回開催の予定。HP日程にて公表し、集客増にも結び付ける。

特別企画展開催の初日には、企画展協力者と副館長による「ギャラリートーク」を開催。

4月 1日：井原真理子先生・中津義人副館長

5月中旬：写真家宮澤正明氏・中津義人副館長

その後、8月、9月に予定。会場は、ドナルド・キーン・センター柏崎2階企画展示室  
参加費は、無料。ただし、入館料は必要。

### 【研究活動計画】

①展示資料及び収蔵資料のデータ化の完成とHP上での情報公開をすすめる

②展示資料及び収蔵資料についてのキーン先生とのつながり（縁）の調査をすすめる

③キーン先生の過去の講演録及び映像の一覧化をすすめる

#### ④財団報の作成準備。

#### 【PR活動計画】

- ①柏崎市内の商店及び事業者への企画展ポスター、チラシの配布と掲示活動  
柏崎市内での周知向上を図る目的で、ボランティアの皆様の協力を得て実施
- ②旅行会社にむけて、パンフレットを発送。旅行社との連携により、柏崎や新潟県内の「食」や他、観光スポットを巡る観光企画の誘導（柏崎市商業観光課、一般社団法人柏崎観光協会の協力も必要）を検討
- ③柏崎市の観光タクシー「ちよっ得タクシー」への協力（4月1日～12月25日）
- ④柏崎コミュニティ放送「柏崎発！ドナルド・キーンの世界」の継続により、地元での当センターの周知とキーン先生の理解度を深める
- ⑤広告掲載（投入）
  - ・ラジオ広告 BSN新潟放送 期間 2018年4月1日～11月25日  
全県20秒×63本
  - ・新聞広告 東京新聞 2018年9月予定  
新潟日報 2018年4月、8月、10月 2019年3月  
柏崎日報 2018年4月、8月、10月 2019年3月  
読売新聞、朝日新聞について、県内広告代理店枠を利用した掲載を随時継続する。
  - ・その他、観光・旅行雑誌への掲載を随時検討する。

#### 【地域連携への強化活動】

目的：ドナルド・キーン・センター柏崎が有するキーン先生由来のコンテンツを市民の皆様にも有意義に活用していただき、文化意識の向上に貢献する。

#### ●2018年度計画

- ①古典を読む会公開講座開催への協力
- ②朗読会グループ「新潟ルネッサンスの会」朗読会開催の協力（会場提供）
- ③柏崎市内で開催される「オペラ講演」及び「文化事業」への「後援」又は「協力」の名義貸し
- ④草加市で開催の「越後国柏崎 弘知法印御伝記」公演への協力（5月6日）
- ⑤東京都北区、旧古河庭園内大谷美術館で開催される宮澤正明写真展「ドナルド・キーン 邂逅」への協力

#### 【ボランティア組織の活動への協力】

ドナルド・キーン・センター柏崎の日々の運営に協力していただいているボランティア組織のイベント活動への協力及びボランティアの皆様の協力を得ることで当センターの周知と集客につなげる。

（主な協力内容）場所の提供、HP等での告知、イベント参加者の展示見学希望者への団体割引適用

（計画されているイベント等）

お茶会（春）

ロビー展示会（年6回計画）

生花等各種講座

（協力依頼内容）展示案内、ポスター配布等イベント広報活動（FMピッカラ「ドナルド・キーンの世界」への協力含め）、各種イベントの計画実行、センター主催イベントの実行委員参加、他

#### 【褒賞事業への取り組み】

日本文学・日本文化を世界に発信するべく優れた翻訳・評伝作品に対する褒賞。

本年度の事業においては、運営資金・運営要員の不足という実情を踏まえ、以下の活動を開始する予定です。

#### ●2018年度計画

- ・褒賞事業内容案及び事業実施の為の組織案作成
- ・パートナー企業の検討
- ・褒賞事業案・選考委員案の作成提案
- ・理事会への進行状況の報告

### （3）文化・芸術・体育等に関する振興活動

目的：教育及び文化・芸術・体育等への振興に関する助成・協賛を行い、広く、教養の向上及び心身の健全な発展に寄与する。

#### ① 文化芸能・スポーツ振興に対する助成事業(公募)

目的：文化芸能・スポーツイベントへの助成を通して、次世代への継承や次世代の育成及び公衆の心と身体健康増進に貢献する。

#### ●2018年度計画

本年度においても、例年通り実施いたします。

- ・予算 文化芸能振興助成事業 100千円 体育等振興助成事業 100千円
- ・対象 各事業とも1件ずつとする
- ・2018年3月理事会にて、公募の承認
- ・HPにて公募（3月～4月）
- ・5月開催の理事会選考・承認
- ・該当団体に助成金の給付

#### ②外国人留学生への研究助成事業

目的：次世代を担う外国人日本文学及び日本文化研究者の育成に貢献する。

#### ●2018年度計画

本年度においては、運営資金・運営要員の不足という実情を踏まえ、以下の活動を開始いたします。

- ・研究助成のプログラム内容の作成
- ・優秀な外国人留学生の選考及び受入れ先となる団体の選定  
（候補：東京日本語学校、国際交流基金等）
- ・理事会への進行状況の報告



#### (4) 公益目的事業に関連する物品販売（収益事業）

当財団の公益事業における「ドナルド・キーン・センター柏崎」にて、センター専用商品として製作したオリジナルグッズやキーン先生関連の著作本や翻訳本をセンター内にて販売します。

販売商品

当センターオリジナルデザイン付きグッズ、図録の販売

当センターの専用ロゴ（キーン先生直筆）を印刷した商品の販売

キーン先生及び関連の著作本・翻訳本の販売

目標値

購入者目標人数 460人

(2,000人×23.0%：2017年度の購入者比率実績より)

事業収入目標額 1,012,000円

(460人×2,200円：2017年度の1人当購入金額実績より)

#### (5) 管理部門の計画

- ① 事務局内人材（学芸員）及び施設管理者の育成
- ② 安定した財団運営のための事業資金の調達と資産の整備
- ③ 地元主導、地元への貢献体制の確立
- ④ その他

上記の事業等を実施するにあたり、「2018年度収支予算」は次項に記載。